

地元で学び 地元の力に

令和五年三月に秋田職業能力開発短期大学の住居環境科を修了し、大館桂工業株式会社に就職しました。まず、多くある学校の中でなぜ職短を選んだのか。私は高校二年生まで仙台の専門学校への進学を志望していました。しか

し「地元で貢献したい」という思いから、大館市に残ることを決めました。専門学校で学び、就職のときに帰郷することも考えましたが、建築を学びながら、沢山の地元の方々と深く関わり合えるという部分に惹かれ入校を決めました。

私は普通科高校出身で建築の知識はほぼゼロで入校しました。初めての建築の授業に目を輝かせながら挑みましたが仰天、建築用語が飛び交う授業は、言葉を知らない私にとっては何となく海外に来ているような感覚でした。周りは工業高校出身者が多かったため、人の倍の努力が必要だと

痛感し「メモ↓調べる・聞く」を繰り返して、必死に授業についていきました。また、パソコン操作に自信がなかったのですが、毎日授業でパソコンに触れ、苦手を克服することが出来ました。CADやBIMを活用した設計の授業では「難しい！完成するのかわ

一人に詳しく丁寧に教えてくれるので、分からない部分はすぐに解決できました。そのおかげで、効率よく知識が吸収できたと感じています。総合制作実習では、大館市の景観について調査しました。子どもや高齢者に優しいバリアフリーな街、若者離れ

を減らせる魅力が街の中にあることを掲げ、時代の変化とともに変えていくべきところを指摘・提案しました。この総制作実習のおかげで「地元の力になりたい」という思いが増しました。そして、経営理念『個別の技術を生かし、地域に必須で、かつ感謝される集団を目指す』を掲げている大館桂工業株式会社に入社し、設備課に配属されました。弊社に入社して初めて頂いた仕事は、社内にある社員専用トレーニングジム

そのうちの統一感を保ちつつ、トレーニングする際のモチベーション向上を願う、かつよく見える材料や家具家電を選定しました。弊社のトレーニングジムは、昨年の十二月にオープンしました。二十四時間三百六十五日いつでも無料で鍛えられるので、沢山の社員が利用しています。トレーニングするだけでなく、和気あいあいとしたコミュニケーションの場にもなっていてとても嬉しいです。インターシップや会社見学の際はトレーニングジムも見学できるので、皆様のお越しをお待ちしています。

大館桂工業株式会社

菅原 ひまりさん

秋田職能短大 住居環境科 (令和四年度修了)

「難しい！完成するのかわからない！」と思っても、負けず嫌いの性格を発揮させながら頑張りました。完成した図面を見るたびに感じた達成感は、建築を学ぶ喜びでもありました。他の学校と比較すると学生の数は少ないですが、ゼロからスタートした私にとって良い環境でした。少人数制であることによって、先生も学生一



菅原さんが設計に携わった自社トレーニングジム



◇後輩たちへ
気になる企業があれば、迷わずインターシップに行ってみてほしいと思います。また、職短での友達との出会いは大切にしてほしい。同じ志を持ち、目指す業種が同じだからこそ、仕事での悩みなども分り合える存在です。「一緒に頑張ろう、大変なのは自分だけじゃない」と改めて感じるものが出来ます。短い二年間を大切に過ごしてほしいです。